

医療から取り残された人びとに 最良の治療法を

「顧みられない病気」に苦しむ世界中の人びとを救う
新しい治療薬・治療法を開発しています

■DNDi (Drugs for Neglected Diseases initiative 「顧みられない病気の新薬開発イニシアティブ」) とは

DNDiは、顧みられない人びとに、安全で有効、かつ手頃な価格の治療法を届けることを目的とした非営利の医療研究組織です。

DNDiは、アフリカ睡眠病（別名ヒト・アフリカ・トリパノソーマ症）、リーシュマニア症、シャーガス病、寄生虫疾患、マイセトーマ（菌腫）、デング熱、小児HIV、クリプトコッカス髄膜炎、C型肝炎などに対する医薬品の研究開発を行っています。

また、子供の健康、ジェンダー平等、性差の考慮、気候変動の影響を受ける疾患への対応を研究開発上の優先事項としています。

2003年の設立以来、DNDiは世界中の官民パートナーと協力し、6つの致命的な疾患に対する17種類の新たな治療薬・治療法を提供し、数百万人の命を救ってきました。



■DNDi のビジョン

顧みられない病気のための治療薬・治療法を既存の営利追求型とは異なる非営利のモデルによって開発し、新規治療薬・治療法への公平なアクセスを実現することにより、顧みられない病気で苦しむ人々の命を救い、生活の質を向上させ、健康を増進していきます。



■顧みられない病気が流行している国や地域における 研究開発能力の構築

DNDiは、顧みられない病気が流行している国や地域において研究基盤やネットワークを形成することで、現地の能力開発に取り組み、その地域の施設を活かした臨床試験を実施しています。

また医薬品開発の国際的な基準を満たせるよう、それらの国や地域でインフラ設備やトレーニングも提供しています。



DNDi は、顧みられない病気に対する治療薬の研究開発に取り組むための組織として、1999年に国境なき医師団が受賞したノーベル平和賞の賞金の一部を利用し、2003年に設立されました。

DNDi 創設機関

- ・ 国境なき医師団
- ・ インド医学研究評議会（インド）
- ・ ケニア中央医学研究所（ケニア）
- ・ マレーシア保健省（マレーシア）
- ・ オズワルド・クルス財団（ブラジル）
- ・ パスツール研究所（フランス）
- ・ WHO 熱帯病医学特別研究訓練プログラム（WHO-TDR）： 常任オブザーバー

3本柱から成るDNDiのミッション



命を救うイノベーション

顧みられない病気に苦しむ患者のために緊急に必要な治療薬・治療法を発見・開発し、それらが手頃な価格で確実に利用可能となり、必要とする人々に届けられるよう取り組みます。



持続可能なソリューション

低中所得国のパートナーと協力し、私たちの進歩を促進し、人々のニーズを最優先するイノベーションエコシステムを強化します。



政策転換へのアドボカシー

より効果的で公平な研究開発を可能にし、収入や住む場所に関係なく、すべての人びとが科学の成果にアクセスできるようにするための政策変更を求めて声を挙げます。

DNDi Japanについて

DNDi Japanは、2003年に日本の活動を開始し、2009年に特定非営利活動法人として東京都の認証を受けました。顧みられない病気で苦しむ人びとを支援するため、DNDiの各地域オフィスと連携し、日本国内外のパートナーとの協働による研究開発プロジェクトの支援、それに関連する日本国内外での能力開発ならびにアドボカシー（様々な関係者への働きかけ）と資金調達に取り組み、低中所得国の人びとの保健医療、福利厚生に貢献しています。

DNDiの日本語情報はこちら👉



（2026年7月改定）

【CONTACT】

特定非営利活動法人 DNDi Japan

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-1 パークウエスト3F

📞 03-6258-0303 ✉ infojapan@dndi.org 🌐 www.dndi.org (グローバル) www.dndijapan.org (日本)